

実現する、中野たいせい 松山、新たいせい

政策ビジョン

100の約束から、暮らしを変える道筋へ。

かせぐ。
まもる。
そだてる。

中野たいせい



市民向け版

2026年9月8日／政策検討版

かせぐ・まもる・そだてる。
政策の全体像と、最初の一步をこの一冊に。

人物写真：提供資料／公式プロフィール。政策の採択・予算・外部合意は未確定。

暮らしが変わる ところまで。

仕事が増える。必要な支援が届く。
子どもも大人も、ここで挑戦できる。

3本柱をつなげ、担当・工程・財源・成果が見える計画にします。

■ 読みたいところから、どうぞ。

03-08 まず動かす、重点3課題

09-17 政策の全体像と8つのテーマ

18-27 暮らしに近い、10の政策特集

28-29 100の約束・全項目の索引

30-31 実行と検証／プロフィール・出典

本冊子は要約版です。

完全版では同じ政策番号で、100日・4年工程・財源・実施条件を確認できます。

まず、この3つを動かす。

現状と未了事項を確かめ、市が担う次の行動を示します。



01 堀之内を活かす

大型イベント、食と文化、街への回遊。
日常の憩いとにぎわいを両立。

詳しくは 04 ページ



02 JR松山駅周辺を進める

西口の文化拠点、東口の暫定活用。
将来のスポーツ拠点へ段階的に。

詳しくは 05-07 ページ



03 事故対応をやり切る

説明、生活再建、再発防止。
一人ひとりの状況を確かめ、対応を追う。

詳しくは 08 ページ

始めた数だけでなく、支援や効果が届いたかを確認します。

堀之内・駅は構想画像。崩落写真は過去の状況で、現在の現地写真ではありません。／S1・S2

城のふもとに、 松山らしい賑わい。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

音楽フェスやフリーマーケット、41地区の食と伝統芸能文化。訪れた人が街を歩き、地元の店で買い物や食事を楽しむ流れをつくります。

小さく試し、安全を確かめる

主催者や地域と協議し、小規模の催事で収支・騒音・芝生・近隣への影響を確認。日常の憩いとイベントを両立させます。

条件を整え、大きく育てる

主催者を公募し、許可・安全・民間資金が成立した開催から規模を拡大。来場者だけでなく地元出店の売上と街への回遊も追います。

最初の100日で整えること

文化財・公園利用・騒音・避難条件を確認。41地区への募集と開催仕様、警備・保険・原状回復の費用を整理します。

日常の憩いと、イベントのにぎわいを両立。

関連する約束 075・補02 | AI生成の構想イメージ。公式完成予想図・確定配置ではありません。1開催の延べ来場1万人は条件付き検討目標で、同時収容人数ではありません。S1・S2・W3。

市民会館を、 駅の西口へ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

文化と交流の拠点をつくる。公演のある日も、ない日も、市民が集まる西口を目指し、既存の検討を引き継いで移転構想を具体化します。

用地・計画・財源を揃える

市民の議論と既存の検討を引き継ぎ、用地・規模・基本計画・財源・工程を整理。条件が成立した段階から設計を進めます。

建てた後の運営まで考える

建設費と維持運営費と一緒に示し、文化活動の代替会場も確保。4年間で進んだ段階と残る課題、次の期限を公開します。

最初の100日で整えること

西口の用地・方針・既存工程と未了事項を確認し、市と関係者の役割、費用、次の判断時期を一つの案件台帳にまとめます。

移転を進める。開業時期は条件とともに示す。

関連する約束 098・補01 | 市民会館移転の構想イメージ（AI生成）。配置・規模・予算・関係者合意は未確定。4年以内の開業を確約するものではありません。JR駅と市駅・マツチカ周辺は別事業です。S1・S2。

まず整えて、 使える東口に。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

駐車・駐輪・乗り換えと、にぎわいを両立。本格整備を待つ間も、駅前を安全で使いやすい場所にします。

歩く人と車の動線を整える

歩行動線、駐車・駐輪、バス・タクシーの乗降と案内を整理。用地・工事・交通の条件に合う改善から進めます。

空いた場所を柔軟に活かす

許可された区画でマルシェや飲食などを展開。工事に合わせて移せる運用とし、設置・管理・移設・撤去の費用も確認します。

最初の100日で整えること

東口の歩行支障・乗降・駐車駐輪の状況と工事工程を確認。関係者との調整事項、仮設の配置・費用・撤去条件を整理します。

完成までの時間も、市民に役立つ駅前へ。

関連する約束 098・補01 | 東口の暫定活用イメージ（AI生成）。配置・予算・関係者合意は未確定。本格整備の完成形ではありません。用地などの条件が未成立なら案内・歩行改善から始めます。S1・S2。

地元スポーツを、 世界につながる力へ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

ナショナルトレーニングセンターの誘致に挑む。自転車競技などの強化・測定・育成を、地域の力にします。

既存施設で合宿・測定を試す

松山競輪場など既存施設と競技団体の需要・利用枠を確認。合意が成立した範囲で強化合宿や測定を実証し、団体の評価を受けます。

拠点化の条件を揃える

国・県・競技団体と協議し、指定条件・資金・運営費・市民利用を確認。必要な投資を判断し、誘致は成立した段階を公表します。

最初の100日で整えること

競技団体の強化需要と既存施設の利用枠を確認。合宿・測定の実証条件と、NTCの指定制度・協議項目を分けて整理します。

誘致への挑戦と、地元選手への支援を進める。

関連する約束 079・098・補01 | 将来構想イメージ（AI生成）。国の指定・駅前新設・立地・規模・財源は未確定。指定に至らない場合も、既存施設での強化合宿連携を継続する提案です。S1・S2。

事故対応を、やり切る。



提供資料に掲載された崩落後の写真。現在の現地状況ではありません。

工事の完了と、生活再建の完了を分けて確認。本人の意思を尊重し、残る説明・支援・再発防止に取り組みます。

一人ひとりの暮らしに向き合う

本人の希望を確かめ、説明と対話を行います。生活の課題を整理し、個別の支援計画と補償協議を進め、実際に届いたかを確認します。

安全と未了事項を追い続ける

城山の点検・監視・避難体制を確認。未解決の理由、暫定措置、担当と次の期限を明らかにし、個人情報に配慮して進捗を示します。

最初の100日で整えること

完了した復旧と未了の支援を別の台帳に整理。希望者との面談、説明日程、個別支援・補償協議の担当と次の期限を定めます。

暮らしの再建と、城山の安全確保まで。

関連する約束 063・070・補04 | 提供資料の崩落後写真で、現在の現地状況ではありません。斜面の復旧工事は2026年5月29日に完了（松山市）。法的責任・補償額の未合意と、生活支援の継続を区別します。S1・S2・W1。

3本柱で、暮らしをつなぐ。

8つの政策テーマと、中央の「実現する市役所」。

A / かせぐ 仕事と所得を伸ばす	B / かせぐ 地元の商売と産業を伸ばす	C / かせぐ 人を呼び、めぐり地域で使う
D / まもる 災害から命をまもる	実現する、中野たいせい 松山、新たいせい	E / まもる 医療と福祉を届ける
F / まもる 移動と暮らしの基盤をまもる	G / そだてる 子育てと学びを支える	H / そだてる 若者と地域の挑戦を支える

共通の実行基盤

AI・デジタル／財源／人員／工程／成果の公開

テーマを押すと、それぞれの8項目へ進めます。

3本柱・8テーマ・64の枝と100の約束を接続。中央は全政策に共通する実行基盤です。／S1

働く場所を増やし、 暮らしのゆとりへ。

A



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

企業誘致と地元人材の育成をつなぐ。雇用の数を重視し、賃金と定着も確かめます。

A1 実質所得と物価を同時にみる

A2 企業を呼び 仕事を増やす

A3 理系・IT人材を地域で育てる

A4 学び直しを 仕事につなぐ

A5 副業人材で 課題を解く

A6 大学と企業の共同事業支える

A7 雇用の数を重視する

A8 AI拠点の 立地条件を検証

採用の数だけでなく、増えた雇用を確かめる。

政策曼荼羅 A1-A8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

松山の商いに、 利益が残る仕組みを。

B



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

地場産品の価値を見直し、生産から販売まで支援。事業の引継ぎや省力化も進めます。

B1 儲ける市役所と商いのDX支える

B2 事業と技術を 引き継ぐ

B3 地場産品と柑橘の再評価

B4 海外の販路を 開く

B5 農地・担い手・農業のスマート化

B6 山と海の 生産を支える

B7 生産・加工・販売・情報発信・物流
の一体整備

B8 ふるさと納税返礼商品化支える

売上だけでなく、事業者と生産者の利益を見る。

政策曼荼羅 B1-B8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

来て、泊まって、 まちを楽しむ。

C



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

堀之内・駅・商店街・道後・港・島をつなぎ、滞在と地域での消費を増やします。

C1 堀之内に大型イベントを呼び込む

C2 41地区の食と伝統芸能文化を発信

C3 城・街・駅・道後をつなぐ(泊食分離の推進)

C4 連泊支えると消費拡大支える

C5 日常の憩いと催事を両立

C6 高浜と観光港の接続を改善

C7 中島・興居島・鹿島の島市と滞在支える

C8 世界と俳句文化でつながる

にぎわいを、地域の商売と暮らしにつなぐ。

知らせる。逃げる。 避難先でも支える。

D



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

河川・斜面・避難路の対策と、地域の備えを一体で進めます。支援が必要な人の避難も確認します。

D1 防災の担い手を増やし支える

D2 災害情報を確実に届ける

D3 避難所と備蓄を整える

D4 河川の対策を流域で進める

D5 城山の安全と被災者支援

D6 津波から逃げられる道整備

D7 学校と地区が一体となった避難訓練

D8 支援が必要な人への環境整備

訓練で見つかった課題を、改善まで追う。

政策曼荼羅 D1-D8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

必要な支援に、 きちんとつながる。

E



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

救急医療を支え、介護・福祉・移動をつなぐ。支える人の処遇と定着にも取り組みます。

E1 救急の受入れを支える

E2 支える人の処遇と定着を支える

E3 小児・周産期の連携を整える

E4 健康と介護予防

E5 医療・介護と移動を一体支援

E6 障がいのある人の就労を支える

E7 孤立とケアの相談をつなぐ

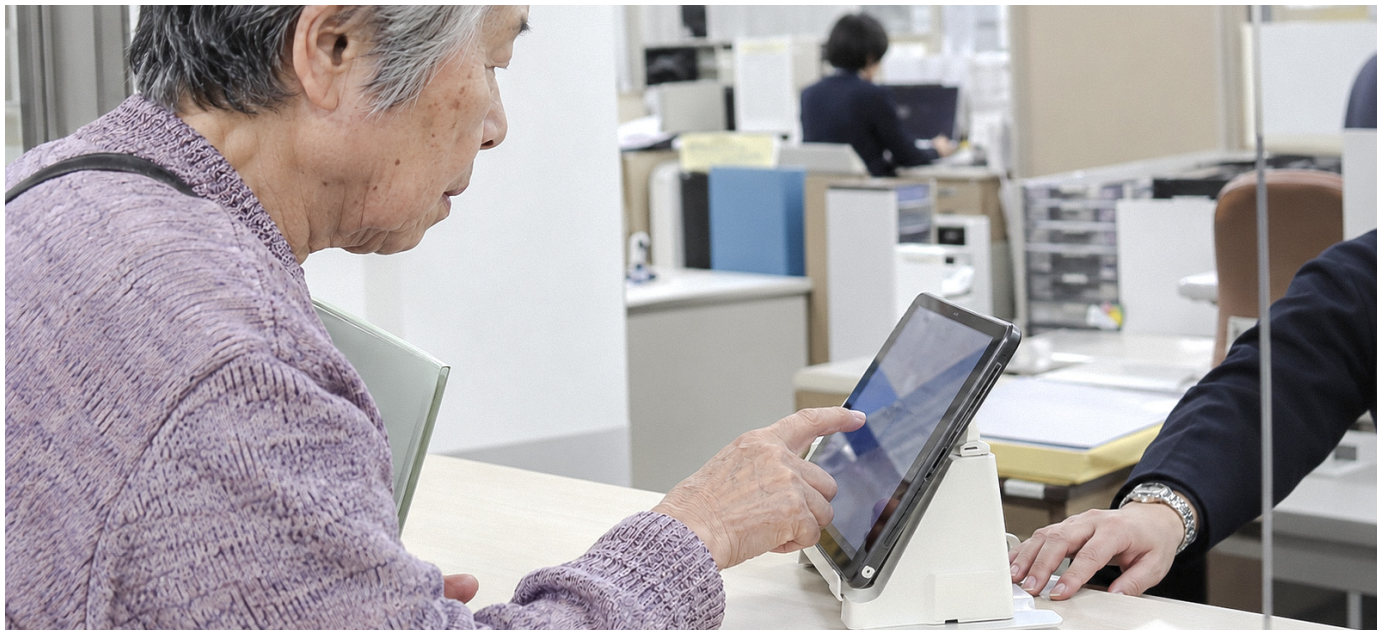
E8 地域の診療と薬の受取り

窓口につないで終わらず、支援が届くまで。

政策曼荼羅 E1-E8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

出かけやすく。 手続きは、もっと楽に。

F



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

通院・買い物の足、道路・水道、公共施設を支える。行政手続きは受け手の目線で見直します。

F1 チョイソコ・乗合交通を活かす

F2 離島の航路を支える

F3 道路・水道の更新が見える化

F4 環境ビジネス支える

F5 受け手視点の行政手続きの見直し

F6 書かない窓口と早く届く化

F7 対象手続きを オンライン化

F8 公共施設を公平に使いやすく

スマホを使わない人にも、届く仕組みに。

政策曼荼羅 F1-F8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

育つ場所と、 学ぶ選択肢を。

G



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

妊娠・出産から学校、放課後まで。家庭や子どもの事情に合わせて、支援の空白を減らします。

G1 給食の負担を公平化

G2 妊娠・出産から産後まで切れ目なく
支える

G3 保育の担い手を支える

G4 放課後の居場所を公平に確保

G5 SSWと一体チームで支える

G6 ICT・理系・英語・仕事の学びを支え
る

G7 学校施設を 計画的に更新

G8 相談をつなぎ 子育てを支える

制度があるだけでなく、利用できるかを確かめる。

政策曼荼羅 G1-G8。各項目から関連特集へ。市民版と完全版で同じ64枝を使用。／S1

始める人も、 続ける人も支える。

H



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

起業、地元就職、住まい、奨学金。大学の力と41地区の声を、地域の改善につなげます。

H1 起業を育て事業継続を支える

H2 女性・学生の 起業の壁を減らす

H3 地元への就職と 定着を支える

H4 進路と仕事を つなぐ学び

H5 大学と地域の 課題をつなぐ

H6 若者の住まいの 負担を軽く

H7 奨学金の返済と 学びを支える

H8 41地区の声とフィールドワークをつなぐ

挑戦が、地元で暮らし続ける力になるように。

仕事が増える。 暮らしのゆとりも増やす。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

企業誘致と人材育成で、地元で働ける機会を増やす。賃金だけでなく物価も見て、暮らし向きを確かめます。

01 雇用の「純増」を追う

採用数から離職などを差し引き、支援企業で実際に増えた雇用を主な指標にする。

02 支える仕事の処遇も改善

保育・看護・介護などの不足職種では、賃金・勤務負担・定着を一緒に改善する。

03 物価高への備えをつくる

急な物価高には、対象・期間・財源と、支援を始める・終える条件を定める。

■ 最初の100日で整えること

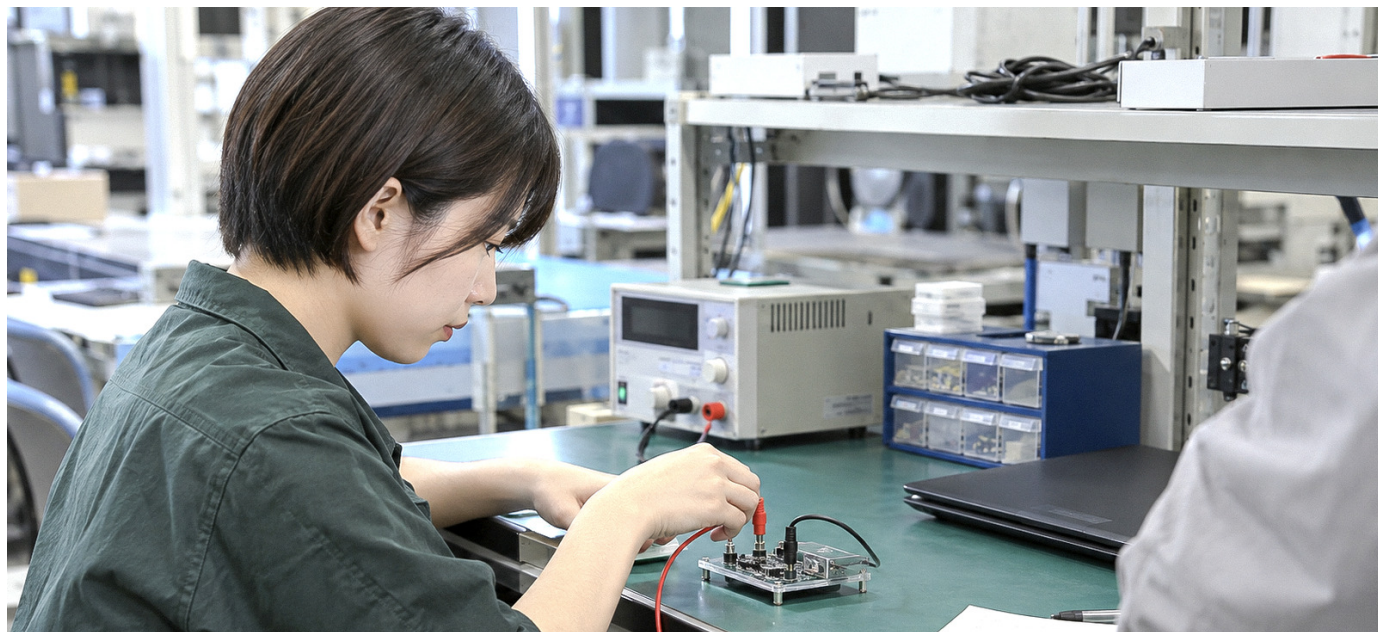
所得・物価と企業の雇用数を確認。純増の集計方法、物価高支援の条件、不足職種の処遇・定着支援案をまとめる。

成果を見る数字

純増雇用／実質的な暮らし向き／賃金・定着

関連する約束 001・004・019・020 | 所得の原案目標と4年間の実行案は区別。基準年・物価・実行能力を確認し、直接の処遇支援は権限・財源が成立した範囲で設計。

学んだ力を、 松山の仕事へ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

理系・ITの実習、求人につながる学び直し、大学と企業の共同事業。学ぶ場と、働く場をつなぎます。

01 地域で学び、現場で試す

大学・高専・企業の実習をつなぎ、理系・IT人材を地域で育てる。

02 求人から講座を設計する

必要な仕事とスキルを確かめ、修了後の就職や職務転換まで支援する。

03 研究を、事業につなげる

企業課題に合う研究者と共同事業をつくり、試作・実証・現場導入を支える。

■ 最初の100日で整えること

企業の求人・実習枠、大学の研究と受入条件を照合。共同講座・実習・産学共同事業の募集条件と成果物を設計する。

成果を見る数字

実習の修了／地元就職と定着／事業化・継続売上

関連する約束 006・014・017・030・035 | 人数・採択枠は求人・受入先・費用を確認して判断。実習と就職、企業との共同事業と地域での実践は、成果・費用を分けて追跡。

売って終わりではなく、 利益が残る商いへ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

地場産品と柑橘の価値を見直す。生産・加工・販売・情報発信・物流を、一続きで支援します。

01 価値を、価格と販路に変える

品質・歴史・用途を見直し、試験販売や値付けの改善で生産者の利益につなげる。

02 農地と担い手をつなぐ

耕作放棄地の再生・就農・スマート農業をつなぐ。地元・有機食材の給食利用も供給条件から検証する。

03 売る手間・届ける負担を減らす

受発注・共同配送、返礼品の商品化を原価・出荷まで支援。中心部以外の商店街も支える。

■ 最初の100日で整えること

原価・販路・配送と、農地・担い手・作物を確認。地区別候補と試験販売、共同配送、返礼品の商品化の実証案をつくる。

成果を見る数字

生産者の手取り／事業者の利益／継続受注・作業時間

関連する約束 007・011・012・081・082・083・084・085・089・091 | 新施設建設を前提にせず既存施設・共同利用を先に比較。地元・有機食材は価格・衛生・継続供給・認証表示を確認。返礼品は制度要件に適合させる。

もう1泊したくなる、 松山へ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

宿は宿で、食事はまちで選べる旅も楽しめるように。城・街・駅・道後から、港や島まで回遊を広げます。

01 泊まる・食べるをつなぐ

宿泊施設と飲食店が連携し、予約・案内・夜の移動を使いやすくする。

02 島ごとの魅力を育てる

中島・興居島・鹿島の島市や体験を、航路と受入能力に合わせて支える。

03 文化で、つながり続ける

41地区の食と伝統芸能文化、俳句の多言語交流を、来訪や継続交流へつなぐ。

■ 最初の100日で整えること

宿泊・飲食・夜間交通と島の受入条件を確認。連泊・回遊商品の予約導線、島別の試行範囲と文化交流の実証案を設計する。

成果を見る数字

平均宿泊数／地域飲食利用／地元売上・住民負担

関連する約束 071・072・074・078・080 | 補完計画12とも接続。泊食分離は選択肢であり、宿の食事廃止や全島の宿泊整備を前提にしない。混雑・水・ごみ・住民交通への影響も確認。

相談を、 支援につながる入口に。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

妊娠・出産・産後の相談、医療、ケア、給付をつなぐ。家庭が何度も説明し直さなくてよい仕組みへ。

01 妊娠から産後まで切れ目なく

相談後に必要な診療や産後ケアを紹介し、利用の断念や給付の漏れを減らす。

02 JRで、0歳児家庭の拠点を実証

相談・手続き・居場所を一体で提供する窓口を、需要と人員を確認して試す。

03 身近な窓口から引き継ぐ

JRへ行かないと完了しない仕組みにはせず、地域の窓口や対面支援も残す。

■ 最初の100日で整えること

相談・医療・ケア・給付の引継ぎと予約待ちを確認。共同運用案と、JRの区画・人員・安全を踏まえた仮設実証案をまとめる。

成果を見る数字

引継ぎ完了／支援までの待ち時間／利用断念・受給漏れ

関連する約束 022・023・039・045・046 | 補完計画01と接続。JR拠点の常設化は用地・安全・人員・費用の成立後に判断。診療は専門職が判断し、本人同意と適切な情報共有を確保。

子どもの事情で、 機会を狭めない。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

給食の負担、放課後の居場所、学校の外の学び。「制度はあるのに利用できない」を減らします。

01 給食の負担差を縮める

小学校の無償化を踏まえ、学校段階や給食を利用できない事情による差を点検する。

02 放課後と長期休暇を支える

子ども食堂・土曜塾と連携。地区ごとの不足を確かめ、長期休暇も食・居場所・学習を支える。

03 本人に合う学びへつなぐ

スクールソーシャルワーカー等のチームで不登校を支援。登校だけを成果にせず、教員の校務負担も減らす。

■ 最初の100日で整えること

学校別の給食負担と地区別の居場所・食の不足を確認。公平化案、不登校支援の役割分担、学びと校務改善の年間計画をつくる。

成果を見る数字

家庭の実負担／居場所の利用断念／学習機会と本人評価

関連する約束 021・026・027・028・029・034 | 松山市の小学校給食費は2026年4月から無償化（既存施策・W2）。中学校の一律無償化は選択肢で、追加支援の対象・恒常財源を確認して判断。

受診も、買い物も。 暮らしを途切れさせない。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

救急を支える人と体制を整え、医療・介護・移動をつなぐ。住み慣れた地域で暮らし続けられるようにします。

01 救急を受け入れる体制を支える

不足する夜間・休日の受入枠を病院と協議し、医師・看護職の確保、処遇と定着を支える。

02 医療・介護の引継ぎを整える

退院後の生活や認知症の相談を、必要な支援へ切れ目なくつなぐ。

03 移動の不便を減らす

チョイソコ・乗合タクシー・既存バスを比較し、通院・買い物への接続を改善する。

■ 最初の100日で整えること

病院の不足人員・受入時間と、地区別の交通・待ち時間を確認。医療支援の配分案、引継ぎ手順と地域交通の改善案をまとめる。

成果を見る数字

救急の受入状況／職員の定着／通院・買い物への到達

関連する約束 041・042・043・044・049・050・055 | 補完計画05・06と接続。医療支援枠・運行区域・利用条件は、関係者の合意と継続財源を確認。医療人材の受入れ、安全・許認可も前提。

避難できることを、 現場で確かめる。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

計画や訓練の回数だけでなく、実際に逃げられるか。避難先で生活が続けられるかまで点検します。

01 逃げる道の支障をなくす

津波避難の経路を歩いて確認し、段差・通行障害・案内を優先順位をつけて改善する。

02 学校と地区と一緒に訓練する

同じ災害想定で避難・引渡しを練習し、見つかった課題を改善まで追う。

03 支援が必要な人も避難できるように

本人の同意を得て、トイレ・電源・介助・移送と個別計画と一緒に整える。

■ 最初の100日で整えること

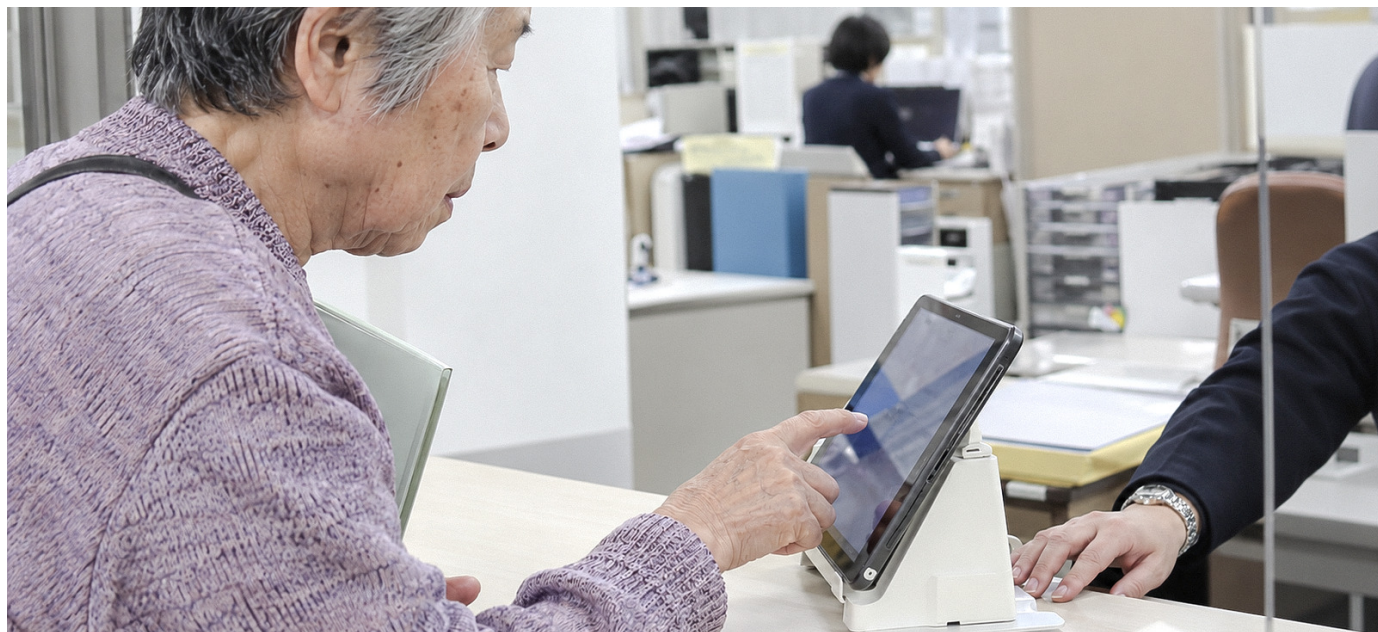
避難所・経路の支障と支援の不足を現地で確認。優先整備の仕様、学校・地区の合同訓練計画と個別計画の改善表をつくる。

成果を見る数字

避難所要時間／改善完了／個別計画の実行確認

関連する約束 058・059・064・067・068・069 | 避難所の全件点検と環境改修の完了は別の指標。用地・管理権限・安全・必要手続を確認し、工事待ちの間は仮設設備や移送も組み合わせる。

書く手間を減らす。 支援を、早く届ける。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

オンライン化だけで終わらず、相談から受取りまで見直す。AI・デジタルは、市民の時間を取り戻すために使います。

01 同じ書類や説明を繰り返さない

窓口の重複・待ち時間を減らす。子育て給付は、みきゃんアプリ等と現金・対面支援を比較実証する。

02 スマホを使わない人も支える

電話・対面の案内や公民館での手助けを用意し、実際の手続き完了を確かめる。

03 公共施設も使いやすく

公民館・体育館の利用料減免を、公共目的に応じて試行。利用しやすさと減収を検証する。

■ 最初の100日で整えること

記入・審査・受取りまでの時間を測定。AIの適用範囲と非スマホ手段、施設減免の対象・財源・混雑を含む実証案を設計する。

成果を見る数字

記入回数／受取りまでの日数／未到達・誤処理

関連する約束 052・092・093・094・098 | 補完計画10と接続。個人情報保護の確認を残す。AIの自動採否や特定アプリへの一本化を前提にせず、給付根拠・調達と減免の条例条件を確認。

始めるだけでなく、 続けられる挑戦へ。



政策イメージ（AI生成・構想）。現況や実施決定を示すものではありません。

起業も、地元での就職も、住まいも。挑戦する一歩と、その後の暮らしを一緒に支えます。

01 創業後まで支援する

資金繰り・販路・人材の課題を伴走支援し、事業の継続と利益を追う。

02 挑戦の入口を広げる

女性・学生の起業の壁を減らし、既存の事業や技術の引継ぎも支える。

03 地元で暮らす負担を軽くする

就職支援を住まい・奨学金返済支援につなぎ、必要な対象と条件を設計する。

■ 最初の100日で整えること

創業後の課題と若者の求人・住居・返済負担を確認。既存支援との重複を除き、伴走支援と就職・住まいの利用条件をつくる。

成果を見る数字

事業の継続率／売上・利益／市内就職・居住継続

関連する約束 003・005・008・009・010・036・037・038 | 補完計画12と接続し、大学と41地区の現地調査・実証を地域へ還元。支援は既存制度と重複を調整し、本人の希望・学業と公平な利用条件を尊重。

100の約束

001-050

番号を押すと、関連する特集へ進みます。
名称に含まれる原案目標と、4年の実行案は区別して扱います。

001	所得と暮らし向きの改善	026	放課後児童クラブ充実
002	松山経済圏60万人構想	027	不登校支援センター
003	スタートアップ100社創出	028	フリースクール支援
004	企業誘致と雇用拡大	029	ICT教育推進
005	若者定着率向上	030	理系教育強化
006	理系人材育成	031	英語教育強化
007	中小企業DX支援	032	キャリア教育推進
008	事業承継支援	033	学校施設更新
009	女性起業支援	034	特別支援教育充実
010	学生起業支援	035	大学連携強化
011	地場産業ブランド化	036	学生定着支援
012	商店街活性化	037	若者住宅支援
013	テレワーク企業誘致	038	奨学金支援
014	リスクリング支援	039	子育て相談DX
015	キャリア教育強化	040	子育て日本一実現
016	副業人材活用	041	救急医療支援5億円
017	産学官連携強化	042	二次救急強化
018	国際ビジネス支援	043	医師確保支援
019	雇用の数を重視する	044	看護師確保支援
020	給料が上がる松山実現	045	小児医療充実
021	給食の負担を公平化	046	周産期医療充実
022	出産祝い支援	047	健康寿命延伸
023	産後ケア拡充	048	介護予防強化
024	保育士確保	049	地域包括ケア推進
025	待機児童対策	050	認知症支援

[100の約束の工程・費用・条件は、完全版へ](#)

索引は政策の要旨。原案名称・数値と4年実行案は完全版に併記。補完13計画は原100件と別管理。

100の約束

051-100

番号を押すと、関連する特集へ進みます。

名称に含まれる原案目標と、4年の実行案は区別して扱います。

051	障がい者就労支援	076	三津浜活性化
052	福祉DX推進	077	高浜活性化
053	孤独孤立対策	078	中島・興居島・鹿島の島市と滞在支援
054	ヤングケアラー支援	079	国際イベント誘致
055	医療安心都市実現	080	俳句文化で世界とつながる国際交流
056	防災士15,000人	081	柑橘ブランド強化
057	防災DX推進	082	農業DX推進
058	避難所の点検・優先改修	083	新規就農者支援
059	防災備蓄強化	084	耕作放棄地対策
060	河川改修推進	085	スマート農業推進
061	小野川対策推進	086	林業再生
062	石手川流域対策	087	水産業支援
063	土砂災害対策	088	輸出促進
064	津波避難強化	089	六次産業化推進
065	自主防災組織強化	090	食料安全保障強化
066	消防団支援	091	ふるさと納税の純収入増
067	学校防災教育	092	行政DX推進
068	地区防災訓練	093	書かない窓口
069	要配慮者支援	094	対象手続きのオンライン化
070	防災先進都市実現	095	行政コスト削減
071	観光客と滞在の拡大	096	EBPM導入
072	観光消費と地域還元	097	オープンデータ推進
073	海外からの来訪・滞在	098	公共施設最適化
074	道後温泉再投資	099	財源なき政策は語らない
075	城山公園イベント拠点化	100	松山ブランド日本一宣言

100の約束の工程・費用・条件は、完全版へ

索引は政策の要旨。原案名称・数値と4年実行案は完全版に併記。補完13計画は原100件と別管理。

進み具合と成果を、 毎年、数字で公表。

担当・期限・費用を決め、実施した後も結果を確かめる。
できたことも、残った課題も、見直す理由も示します。

■ 就任後、最初の100日

30日

現状を確かめる

資料・課題を集める

60日

実施案をつくる

役割・費用を整える

100日

判断材料を示す

工程・財源案を提出

■ 4年間の進め方

1年目

安全・生活支援を優先し、試す

2年目

条件が揃った施策を実装する

3年目

効果があるものを広げる

4年目

成果と課題を検証し、引き継ぐ

財源と人員を示して、実施を判断。

初期費・運営費・未確保額を示し、継続・拡大・修正・停止を判断します。

中野たいせい

中野 泰誠 | なかの たいせい

- 1982年** 愛媛県松山市生まれ
- 2006年** 東京大学教育学部卒業
- 2006-2018年** 株式会社電通に勤務
- 2019年** 愛媛県議会議員選挙で初当選



出典と、資料の扱い

- S1 中野たいせい「100の約束・実行管理表」**
2026年9月8日版。政策曼荼羅・100施策・重点5計画・補完13項目。
- S2 中野たいせい「重点政策プレゼン・統合版5枚」**
政策意向・過去の崩落写真。構想画像は明るさ調整v3・JR再生成版に更新。
- W1 松山市「緑町土砂災害の復旧工事が完了しました」**
更新2026.05.29／城山斜面の復旧工事の完了を確認。
- W2 松山市「学校給食費について」**
更新2026.04.28／小学校給食費の無償化を確認。
- W3 松山市「城山公園（堀之内地区）の整備について」**
史跡の保存・活用に関する説明を参照。
- W4 中野たいせい公式サイト「プロフィール」**
出身・学歴・経歴、人物写真の参照元。

本冊子は政策検討案です。施策の採否・予算・人員・関係者の合意は未確定です。
構想画像は完成や事業採択を示すものではありません。

写真等の配布利用権・発行者表記・公開内容は、発行前に確認してください。

公式資料の確認日：2026年9月8日。政策案・現行の事実・構想画像を区別して掲載。

暮らしを豊かに。
松山ブランドを、
日本一へ。

かせぐ。まもる。そだてる。

実現する、中野たいせい
松山、新たいせい



公式サイト

taiseinakano.com

政策ビジョン 2026 | 市民向け32ページ版

2026年9月8日／政策検討版。QRコードは中野たいせい公式サイトへのリンク。